



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：三瓶 和秀 幹事：鈴木 弘康 発行：会報・広報委員会

第 3020 例会 (3号) 2016 年 7 月 21 日 (木) 曇

会員卓話 SPEECH

ソウル国際大会2016 参加報告

渡辺 淑彦 会員



皆さん、こんにちは。私はラトブの7階で弁護士事務所を構えています渡辺淑彦です。先日、韓国で開かれた「ソウル国際大会」に参加した報告をさせていただきます。私は日弁連の原子力部会に所属して、その中で過去3年間、原子力やエネルギー

に関する現地調査を行って来ました。

2013年にチェルノブイリを訪問し事故後の現状調査、2014年はオーストリアで自然エネルギー活用と森林保護について、2015年にはスリーマイル島の事故の損害賠償の処理について調べました。いずれの地でも関係者から「福島はどうなっているのか」と逆に尋ねられ、福島第一原発事故に対する海外の関心の高さを感じました。そのため海外で福島について発信する機会があればと考えていました。今回の国際大会を前に同業の高橋金一先生(郡山西RC)から分科会で原発事故に関する現状を語ってほしいと誘われ、引き受けたのです。

分科会で、どのような話をしてきたかと申しますと、世界の人々は「福島は危ない」と福島県全体が危険な状態だと思われるので、そうではないと強調してきました。そして原発事故に伴う賠償の問題などを語りました。賠償に関する不平等や不合理な点、東電が次第に支払いを拒絶するようになっている状況、さらに賠償が二次被害、三次被害というべき問題を引き起こしていることなどを説明しました。

賠償については昭和36年につくられた原子力賠償責任法に基づいて処理しています。この法律は過失があったか、ないかに関わらず東京電力などの事業者が責任を負うことになっています。そして無限責任です。世界では何兆円までと上限があるのですが、日本の場合は制限がない。事業者からは上限を設けてほしいと議論になっていますが、おそらく無限責任は解消されな

いだろうと言われていました。

また、国と事業者の責任という点であいまいな法律になっています。国は東電が払える賠償の範囲を超える時に援助するという形になっていて、損害賠償の支援機構が東電に約6兆円を貸し出しているのです。

私の場合、今は直接請求を中心に取り組んでいます。原発事故の賠償では裁判外紛争解決(ADR)が設けられ裁判に訴える前に話し合いが行われていましたが、なかなか決着がつかないため訴訟になるケースが増えています。

賠償の地域間格差も大きな問題です。元来、賠償は経済的なものであって、避難指示区域などの行政的なものとの整合性は取りづらいのです。東電の賠償は避難指示区域に即して行われ例外を認めません。それがADRでは解消することができず訴訟に発展して長期化する原因です。不平等、賠償によって地域の分断、住民相互の不信感を助長して、二次、三次被害を発生させています。

東電は既に6兆円を超える賠償をしています。スリーマイル島事故の例を見ますと賠償の上限の不明確が問題視されるようですが、被害者救済を優先すべきかどうかの視点に立てば、その対応は非常に難しいと考えます。それから社会問題も発生しています。遺産分割などは余り問題にしなかったのですが、原発事故の賠償を巡る遺産分割などの問題が発生し、家族間の紛争の火種になるケースもあります。

各国に原発がある状況で、事故が起きたら賠償だけでは救済は不可能という視点から、いかに予防が大切か、それぞれ現場とともに考えるべきだと話してきました。福島の場合、賠償だけでなく、どのような支援が必要になるかも重視しなければなりません。高齢者へのサポート、子どもの不登校・いじめ対策、一部にある就労意識の低下の対応なども必要と思います。

このほか、震災直後から現在までの避難地域の状況などをスライドを使って紹介しました。津波の被災地だけでなく、全町避難によりコミュニティが崩壊した町、仮設住宅での暮らしなど、私が見た状況を伝えました。そして、このような事故を起こす可能性のある原発と共存可能なのか各国で考えていただきたい、と締めくくりました。



2016~2017年度
国際ロータリーのテーマ

「人類に奉仕するロータリー」

Rotary Serving Humanity

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

司会：鈴木弘康幹事

〔点鐘・ロータリーソング（我等の生業）・四つのテスト（安武誠司会員）〕



安武誠司会員

★ 誕生祝



渡辺 淑彦さん
(7月6日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

◆入会式・新入会員紹介（企業交代）

○NTT東日本いわきエリア支店長
常葉修一様

入会を承認していただき、ありがとうございます。前任の竹谷同様、地域に密着して活動してまいります。よろしく、お願いいたします。



常葉修一様

◆会長挨拶ならびに報告



昨日、大橋巨泉さんが亡くなられていたという報道があり、その少し前には永六輔さんの訃報もありました。テレビ・ラジオ界で創生期から活躍されてきたお二人でした。大橋巨泉さんという私が思春期を迎え、少しヒゲが生え始めたころ「11 PM」の司会をされていて、普段、起きもしない時間にテレビをつけて、こっそり見ていた記憶があります。その二人が亡くなったのは大変、寂しい思いになります。我々が小さいころ年輩の方がよく「明治は遠くなりにはけり」と話されていましたが、まさに私から見ると「昭和も遠くなりにはけり」という気がします。

先ほど理事会で熊本地震の義援金の対応について承認を得ました。まずクラブの予備費から10万円を拠出します。さらに会員の皆さんには1人2千円を義務として募金していただきます。それ以上の募金も歓迎し8月25日まで受付です。

また、9月24、25日に郡山市の磐梯熱海で地区大会が開催されます。会員の皆さんには、ぜひ1泊2日の行程で参加していただきたいと思います。ホテル華の湯に宿泊する料金1万5千円のうち5千円はクラブから補助いたします。

◆幹事報告

- いわき平中央RCより会報が届きました。
- 直前の理事会で今年度の予算案が承認されました。詳細はのちほど書面でお知らせいたします。
- 8月4日はガバナー公式訪問ですので、事前のクラブ協議会に出席する各委員長・副委員長をはじめ会員の皆さんの出席をよろしくお願いいたします。

委員会報告

◆出席委員会（池田直彦委員）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
7月22日	50名	26名	—

◆ロータリー財団委員会（鈴木東雄委員長）

森雄治さん、浅倉哲也さん。 以上2件

◆スマイルボックス委員会（代理・大久保健蔵会長エレクト）

♥三瓶和秀さん（渡辺さん卓話よろしくお願いいたします）♥佐々木芳弘さん（本日早退します）♥鈴木弘康さん（上着を忘れてきてしまいました。未着用ですみません）♥郡二三子さん（7/16事務局研修へ行って来ました）♥渡辺淑彦さん（遅ればせながら黒須さん、お孫さんのU15ベースボールワールドカップ出場（東北で唯一）おめでとうございます。誕生祝ありがとうございます）♥有賀行秀さん（渡辺さん卓話よろしくお願いいたします）♥鈴木東雄さん（渡辺様卓話よろしく）♥関口武司さん（渡辺さん、卓話宜しく）♥森雄治さん（渡辺さん、卓話よろしく）♥飯野光世さん（プログラム委員会の飯野です。渡辺さん卓話よろしくお願いいたします）♥青木喜久男さん（渡辺先生、卓話よろしくお願いいたします）♥八幡恭朗さん（渡辺さん卓話よろしくお願いいたします） 以上12件

★本日の例会案内 8月4日（木）12:30～
佐久間英一ガバナー公式訪問
お食事メニュー＝うな重、小鉢

★次回の例会案内 8月18日（木）12:30～
会員増強委員会担当卓話（吉田仁平委員長）
お食事メニュー＝海鮮ちらし寿し、稲庭風うどん
※8月11日は「山の日」の祝日により休会